

清流大川

羽地中学校
学校だより 119号
せいりゅうおおかわ
H30.10.31



山川さん講演会&メイク女子会

31日(水)6校時に山川暁子さんの講演会を体育館で開催しました。2年生と3年生、職員他にも、中本教育次長様、あい保育園の山川直子園長先生と職員の皆さん、他校の先生方も参加された講演会となりました。

全体会では、事前に提供された写真や動画を北島先生編集によるプレゼンで展開されました。中学時代や高校卒業後の進路のお話の中心に、親の援助を借りずに、借りられず、アルバイトをしながらの東京・世田谷区にある山野美容専門学校を夜間で学びます。その後、保育園の事務を手伝いながら、県内の美容室等で働きますが、「自分がやりたい



Before

After

放課後は、美術教室にて女子会トーク炸裂の山川美容教室デモンストレーションでした。モデルはMさん。

今日はハロウィン、ということで骸骨ちゃんに変身メイクしてもらいました。アシスタントはAさん、U先生です。U先生は、ハンパーガーネイルとバラネイルもしてもらいました。Mさんは学校で驚かした後、涼しい顔で塾にも参加したそうです。



ことを探し続けていたそうです。きつかけはなんと、テレビ番組の「情熱大陸」。マイケルジャクソンのヘアメイクに関わっていた日本人アーティストの番組を見て衝撃を受けたそうです。

本人に電話して渡米し、ヘアメイクの仕事の相談をした後に、再度、渡米。

才能あるアーティストに積極的に投資し、支援していくアメリカの風土に押され、そこで生きていくことを決意します。しかし、現実には甘くなく、ポテチでお腹を満たす生活が続きます。

長くアメリカに滞在するためには「ビザ」を取得する必要があります。全てで年6回行われるネイルコンテストに応募していきます。その活動中に、彼女の才能を見抜き、サポートしてくれるスポンサーが現れます。コンクールへの参加料や旅行費用、材料費用などの支援を得て、数々のコンクールで優勝や2位になるネイ



「日本では、出る杭は打たれる、と言う言葉があるけれど、アメリカでは『走る馬車には油を差す』という言葉があった、これだと思った人には投資を惜しまない風土があり、応援してくれる」そうです。このことは、アパート近くの日本人が経営するラーメン屋さんに仕事をさせてもらえた時に言われた言葉だそうです。彼女はネイルコンテストでの受賞実績を認められ、ビザを取得しました。しかし、山川さんの挑戦は続きます。本当にやりたい事は別にある。それが、ヘアメイクの世界でした。美術が得意だった中学生、自分の夢の実現に向かいます。

ル作品を次々に発表していきます。り上げ、レリーフ状に仕上げた作品が技術の高さを物語っています。作品は、スポンサーさんに渡り、手元には残らないそうですが、コンクールで得た賞金はいただけるそうです。